

4. D農園（南部・伯耆地区、畑）

作型	春ねぎ(a)	夏ねぎ(a)	秋冬ねぎ(a)	合計(a)
経営規模(R4)	6	50	50	106
主要品種	坊主しらず、夏扇パワー、秋の宝山、関羽一本太 等			

労働力	合計	4人		内訳	男性	2人		女性	2人
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上		
		人	1人	人	1人	1人	1人		
作業時間	前日収穫、翌日調製(午前7時～正午、午後3時～午後6時頃)、翌々日早朝出荷(午前5時～午前6時)の3日サイクルで作業を行う。								
出荷日量※1	112 箱/日								
作業効率※1	4.8 箱/人/時								
規格別出荷割合	2L	L	L4	M	A	優	3L		
※1 (%)	71.0	20.8	3.3	0.7	1.3	0.3	2.5		
作業項目	使用機材	作業スピード※2	作業環境※2						
			照度(Lx)	騒音(dB)					
根・葉切り	きり子 マツモト MCR-1D	1,075 本/人/時	598	55					
皮はぎ	エコパワーMZ-R型	713 本/人/時	282	89					
拭き	—	590 本/人/時	753	—					
結束 2L	結束機1台(手動)	212 束/人/時							
結束 L		171 束/人/時							
箱作り	—	400 箱/人/時	639	63					

※1 R5.11.4～11.9の出荷実績より

※2 調査はR5.10.23及びR5.10.24に実施

●主な優良ポイント●

1. 作業場のレイアウト

- ・作業導線が一方向であり交差せず、白ネギを持ち運ぶ距離が短い。
- ・空間を有効活用するため、棚の設置及び作業台を1台に絞り作業ができるよう工夫している。

2. 各作業の能率を上げる工夫

- ・2L、L規格率が高いため、選別・結束が容易となり、結束作業の効率化に繋がっている。
- ・ほ場での収穫時に丁寧な下処理(外葉除去を行うことで皮はぎ作業の効率化を図っている。
- ・祖母を調製作業に組み込むため結束作業で固定化し、他の作業は3名で分担している。

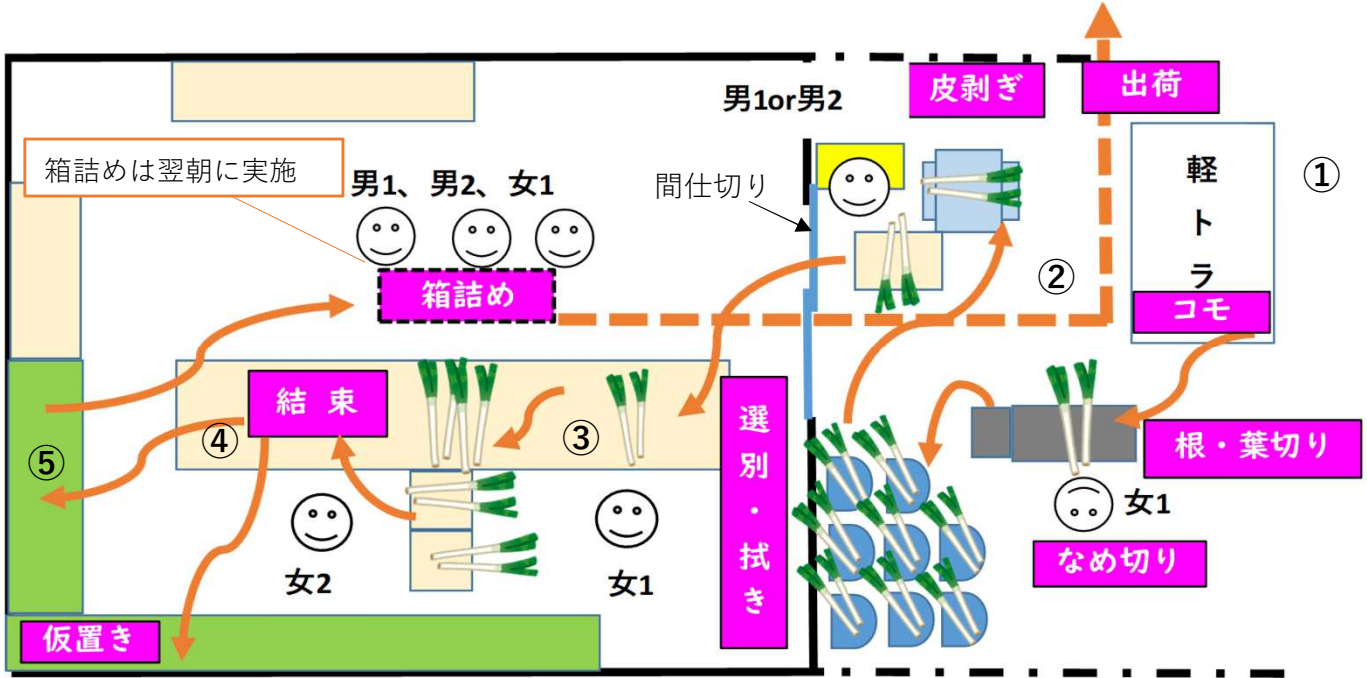
3. 身体への負担軽減対策

- ・騒音による身体負担軽減を図るため、根・葉切り、皮はぎ作業は間仕切りして行っている。
- ・品質管理だけでなく作業者の身体負担軽減のためにエアコンを設置している。

●作業場レイアウト図及び工夫箇所●

★作業場面積（内側のみ） 28.98㎡（6.37m×4.55m）

★付帯設備：エアコン、空気清浄機



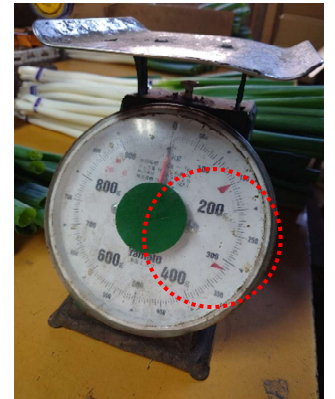
①皮剥ぎ作業の効率化

写真は皮剥ぎ前の白ねぎ。2L・L率が高く、可能な限り外葉を剥いで収穫している。



②音が出る作業は場所を分ける

騒音対策のため、音が出る作業は間仕切りして行っている。



③一目で分かる目印計量器は高齢の祖母にも分かりやすいよう印をつけている。



④結束作業の効率化

横並びで作業を行うことで、効率よく結束作業が行える。布や交換用テープは足元にあらかじめ準備している。



⑤作業空間の有効活用

箱詰め前の白ねぎは棚に仮置き。結束終了後は、同じ作業台で箱を作り、詰め作業を行う。